

令和 6 年 8 月 2 1 日

交 通 事 故 概 況

令和 6 年 7 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（7月末計上数（確定数））

1 令和6年7月末の交通事故発生状況

区分\内容	7月中	前年比	7月末	前年比
発生件数（件）	726	68	4,960	-4
死者数（人）	11	-10	52	-12
傷者数（人）	829	62	5,859	15

[過去10年、7月中7月末の推移]

区分\年別	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	過去平均		R6年
											10か年	5か年	
7月中死者	10	12	13	17	13	16	15	14	13	21	14	16	11
7月末死者	86	88	75	75	75	69	69	66	56	64	72	65	52
年間死者数	169	177	158	148	141	152	144	120	115	131	151	134	—

都道府県別（7月中）

順位	1		3		5
都道府県名	大阪	埼玉	愛知	北海道	千葉
死者数	14		11		9

都道府県別（7月末）

順 位	1	2		4	5	10
都道府県名	千葉	東京	愛知	大阪	兵庫	北海道
死 者 数	81	76		68	61	52

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 7月中の死亡事故（死者11人）

- 事故類型別：車両単独が5人(45.5%)、人対車両が3人(27.3%)
- 道路別：国道が6人(54.5%)、道道、市町村道が各々2人(18.2%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、非市街地カーブが各々3人(27.3%)
- 発生時間別：10～12時が3人(27.3%)、8～10時、12～14時が各々2人(18.2%)
- 第一当事者年齢別（1当原付以上）：高齢運転者が4人(36.4%)、50歳代運転者が3人(27.3%)
- 第一当事者違反別（1当原付以上）：前方不注意が3人(27.3%)、最高速度、操作不適が各々2人(18.2%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が7人(63.6%)

(2) 7月末の死亡事故（死者52人）

- 事故類型別：
 - ・人対車両が18人34.6%（うち前方不注意が6人33.3%、歩行者妨害が3人16.7%）
 - ・車両単独が14人26.9%（うち前方不注意が6人42.9%、酒酔い、最高速度、操作不適が各々2人14.3%）
 - ・正面衝突が11人21.2%（うち前方不注意が5人45.5%、過労運転によるものが3人27.3%）
- 道路別：
 - ・道道が17人32.7%（うち人対車両が6人35.3%、正面衝突が5人29.4%）
 - ・国道が15人28.8%（うち人対車両、車両単独が各々4人26.7%）
 - ・市町村道が13人25.0%（うち人対車両が7人53.8%、車両単独が3人23.1%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が17人32.7%（うち歩行者妨害、信号無視、前方不注意が各々3人17.6%）
 - ・非市街地直線が15人28.8%（うち前方不注意が5人33.3%、最高速度が3人20.0%）
- 発生時間別：
 - ・12～14時が10人19.2%（うち車両単独が6人60.0%、人対車両、正面衝突が各々2人20.0%）
 - ・10～12時が9人17.3%（うち正面衝突、車両単独が各々3人33.3%）
- 第一当事者年齢別（1当原付以上）：
 - ・高齢運転者による死者が20人38.5%（うち車両単独が10人50.0%、人対車両、正面衝突が各々4人20.0%）
 - ・50歳代運転者による死者が10人19.2%（うち正面衝突が3人30.0%、人対車両、自転車対車が各々2人20.0%）
- 第一当事者違反別（1当原付以上）：
 - ・前方不注意が18人34.6%（うち人対車両、車両単独が各々6人33.3%）
 - ・最高速度が7人13.5%（人対車両、車両単独が各々2人28.6%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が32人61.5%（うち人対車両が12人37.5%、車両単独11人34.4%）
 - ・50歳代の死者が8人15.4%（うち人対車両、正面衝突が各々2人25.0%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者24人中、シートベルト非着用者は8人(33.3%)であり、うち5人(62.5%)は、シートベルトをしていれば助かった可能性が高い。

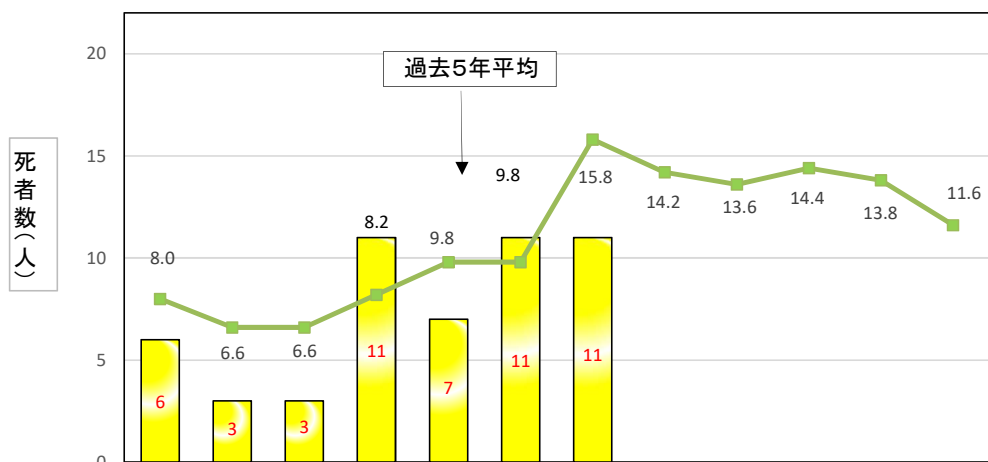
(3) 方面別発生状況

7月中の死者数は、札幌方面が4人(36.4%)、北見方面が3人(27.3%)、旭川方面、釧路方面が各々2人(18.2%)となっている。
7月末の死者数は、札幌方面が25人(48.1%)、釧路方面が9人(17.3%)、旭川方面が8人(15.4%)、北見方面が7人(13.5%)、函館方面が3人(5.8%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
7月中	全道	726	68	11	-10	829	62
	札幌方面	540	70	4	-4	627	75
	函館方面	60	4		-1	68	3
	旭川方面	46	2	2	-1	50	-1
	釧路方面	56	-12	2	-5	61	-17
	北見方面	24	4	3	1	23	2
方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
7月末	全道	4,960	-4	52	-12	5,859	15
	札幌方面	3,690	4	25	-7	4,400	77
	函館方面	311	3	3	-4	360	-15
	旭川方面	403	27	8		483	34
	釧路方面	439	-25	9	-2	484	-51
	北見方面	117	-13	7	1	132	-30

(4) 月別発生状況の推移

7月中の死者数は11人で過去5年平均15.8人を下回っている。
7月末の死者数は52人で過去5年平均64.8人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年	6	3	3	11	7	11	11						52
年間累計	6	9	12	23	30	41	52						
過去5年平均	8.0	6.6	6.6	8.2	9.8	9.8	15.8	14.2	13.6	14.4	13.8	11.6	132.4
累計平均	8.0	14.6	21.2	29.4	39.2	49.0	64.8	79.0	92.6	107.0	120.8	132.4	

(5) 都道府県別死者数

7月中は大阪府、埼玉県が各々14人で最も多く、次いで愛知県、北海道が各々11人、千葉県、神奈川県、茨城県、広島県が各々9人となっている。

7月末は千葉県が81人で最も多く、次いで東京都と愛知県が各々76人、大阪府が68人、兵庫県が61人で北海道は52人で10位となっている。

区分\都道府県	大阪	埼玉	愛知	北海道	千葉	神奈川	茨城	広島	長野	東京	全国
7月中死者数	14	14	11	11	9	9	9	9	8	7	227
ワースト順位	1	1	3	3	5	5	5	5	9	10	-
前年比	-1	1	1	-10	0	1	4	5	4	-9	-9
増減率(%)	-6.7	7.7	10.0	-47.6	0.0	12.5	80.0	125.0	100.0	-56.3	-3.8

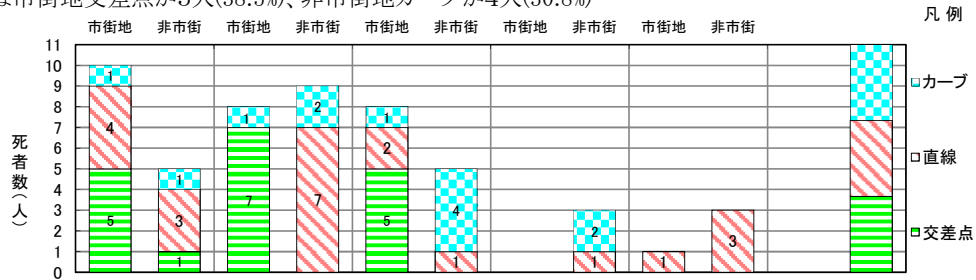
区分\都道府県	千葉	東京	愛知	大阪	兵庫	神奈川	埼玉	福岡	茨城	北海道	全国
7月末死者数	81	76	76	68	61	60	58	54	53	52	1,409
ワースト順位	1	2	2	4	5	6	7	8	9	10	-
前年比	15	8	-6	-27	11	-6	-3	1	3	-12	-8
増減率(%)	22.7	11.8	-7.3	-28.4	22.0	-9.1	-4.9	1.9	6.0	-18.8	-0.6

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

道道が17人(32.7%)、次いで国道が15人(28.8%)、市町村道が13人(25.0%)となっている。

- ・ 道道は市街地交差点、非市街地直線が各々7人(41.2%)
- ・ 国道は市街地交差点が5人(33.3%)、市街地直線が4人(26.7%)
- ・ 市町村道は市街地交差点が5人(38.5%)、非市街地カーブが4人(30.8%)

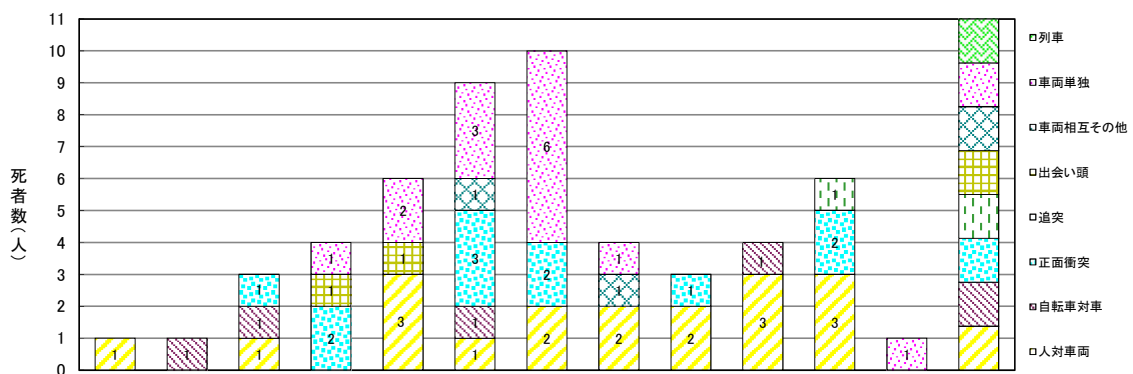


区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	15	17	13	3	4	52
構 成 率 (%)	28.8	32.7	25.0	5.8	7.7	100.0
過去5年構成率	37.8	23.8	30.6	2.0	5.9	100.0

(2) 時間別

12～14時が10人(19.2%)、10時～12時が9人(17.3%)となっている。

- ・ 12～14時は車両単独が6人(60.0%)、人対車両、正面衝突が各々2人(20.0%)
- ・ 10～12時は正面衝突、車両単独が各々3人(33.3%)

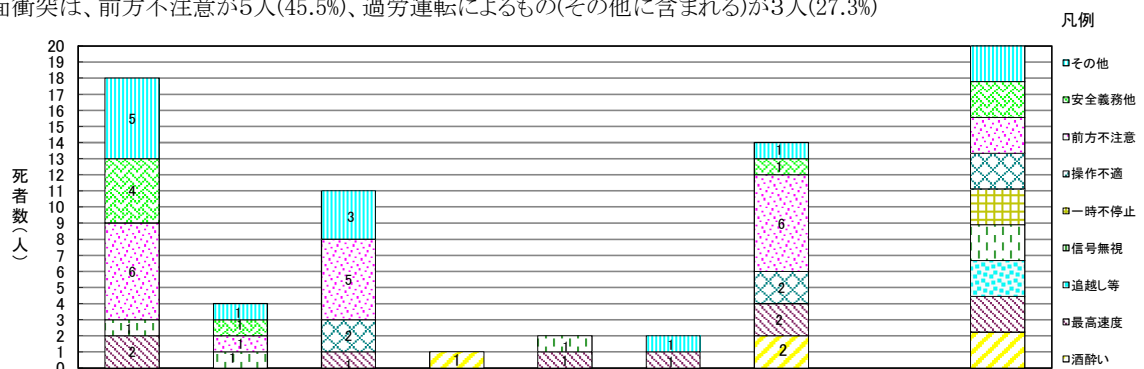


区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数	1	1	3	4	6	9	10	4	3	4	6	1	52
構 成 率 (%)	1.9	1.9	5.8	7.7	11.5	17.3	19.2	7.7	5.8	7.7	11.5	1.9	100.0
過去5年構成率	3.3	2.3	3.6	7.8	10.7	15.3	15.0	14.3	8.1	8.5	6.8	4.2	100.0

(3) 事故類型別

人対車両が18人(34.6%)、車両単独が14人(26.9%)、正面衝突が11人(21.2%)となっている。

- ・ 人対車両は、前方不注意が6人(33.3%)、歩行者妨害(その他に含まれる)が3人(16.7%)
- ・ 車両単独は、前方不注意が6人(42.9%)、酒酔い、最高速度、操作不適によるものが各々2人(14.3%)
- ・ 正面衝突は、前方不注意が5人(45.5%)、過労運転によるもの(その他に含まれる)が3人(27.3%)



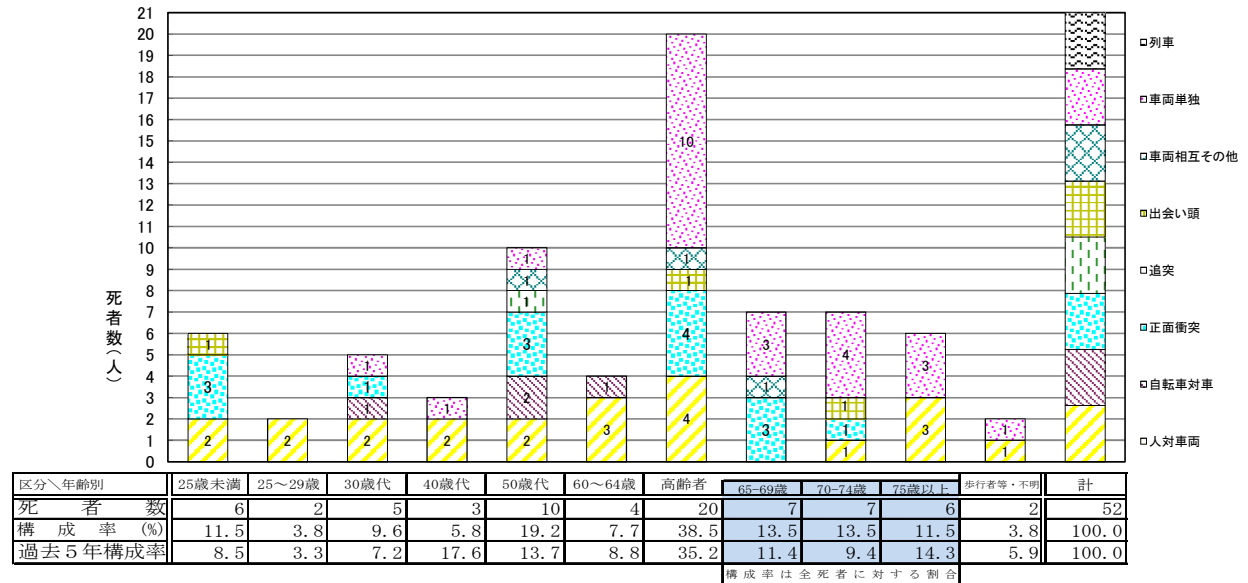
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車 両 相 互				車両単独	列 車	計
死 者 数	18	4	11	1	2	2	14		52
構 成 率 (%)	34.6	7.7	21.2	1.9	3.8	3.8	26.9		100.0
過去5年構成率	27.7	5.9	20.8	0.7	9.4	3.6	31.3	0.7	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別（第1当原付以上）

高齢運転者による死者が20人(38.5%)、50歳代運転手による死者が10人(19.2%)となっている。

- ・高齢運転者は、車両単独が10人(50.0%)、人対車両、正面衝突が各々4人(20.0%)
- ・50歳代運転者は、正面衝突が3人(30.0%)、人対車両、自転車対車が各々2人(20.0%)

凡例

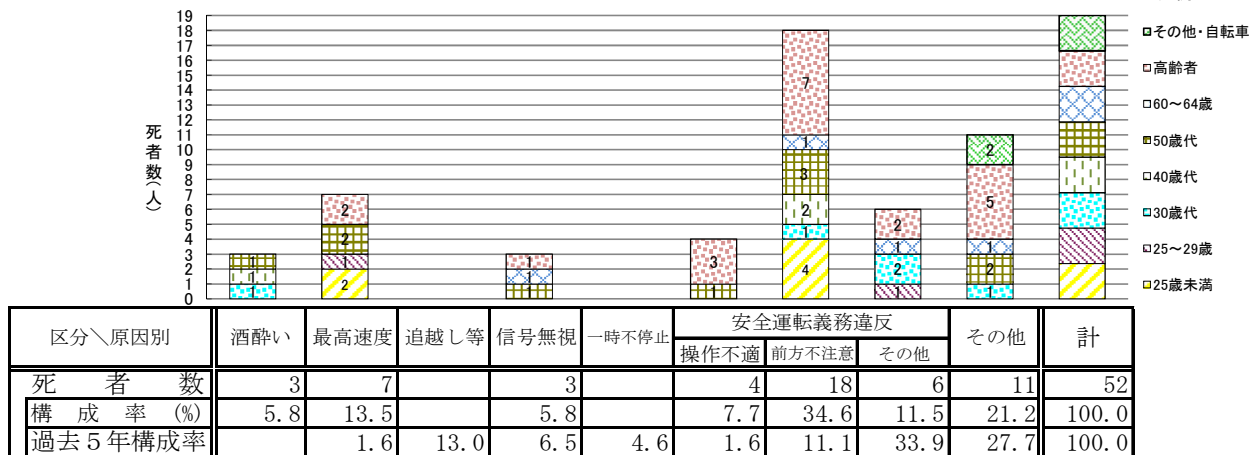


(5) 第一当事者の違反(原因)別（第1当原付以上）

前方不注意によるものが18人(34.6%)、次いで最高速度が7人(13.5%)となっている。

- ・前方不注意は、高齢運転者による死者が7人(38.9%)、若年運転者(25歳未満)による死者が4人(22.2%)
- ・最高速度は、若年運転者(25歳未満)、50歳代運転者、高齢運転者による死者が各々2人(28.6%)

凡例

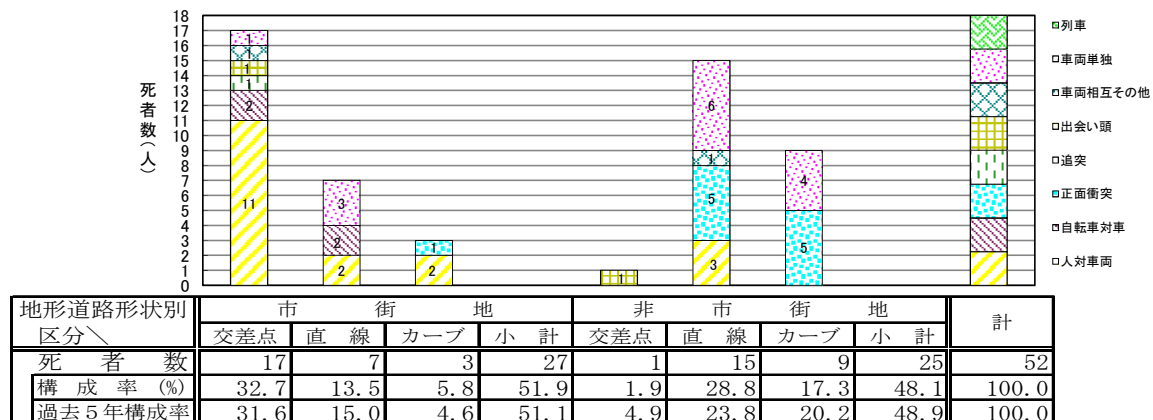


(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が17人(32.7%)、次いで非市街地直線が15人(28.8%)となっている。

- ・市街地交差点は、人対車両が11人(64.7%)、自転車対車が2人(11.8%)
- ・非市街地直線は、車両単独が6人(40.0%)、正面衝突が5人(33.3%)

凡例

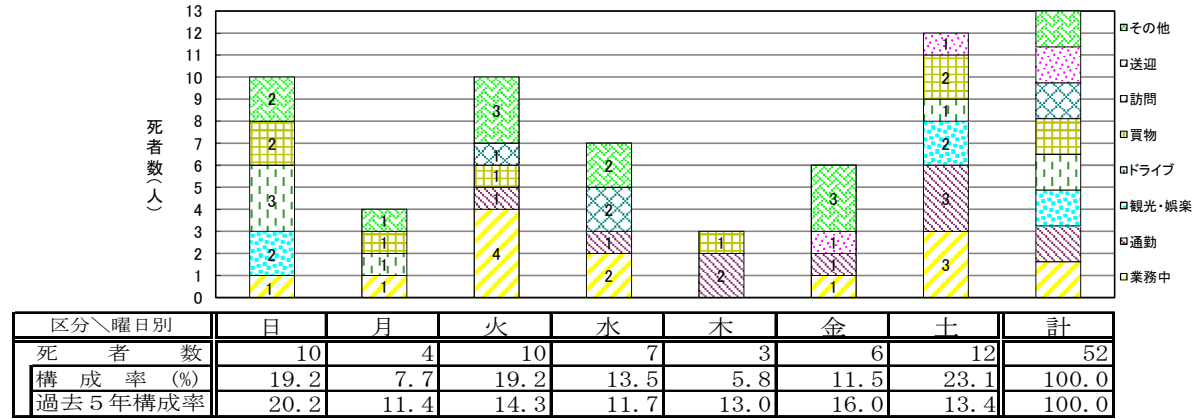


(7) 曜日別

土曜日が12人(23.1%)、次いで日曜日と火曜日が各々10人(19.2%)となっている。

- ・土曜日は、業務中と通勤が各々3人(25.0%)
- ・日曜日は、ドライブが3人(30.0%)、観光・娯楽と買物が各々2人(20.0%)
- ・火曜日は、業務中が4人(40.0%)、通院(その他に含まれる)が2人(20.0%)

凡例

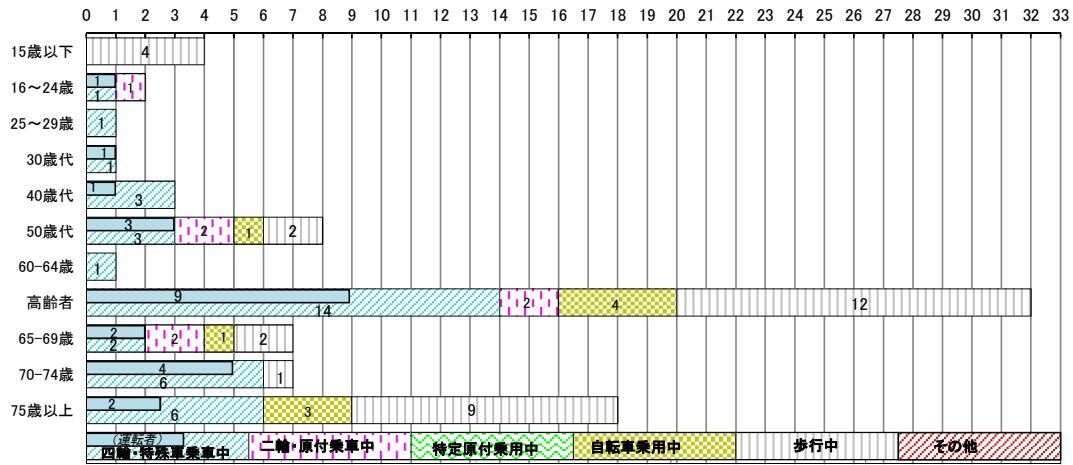


(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者が32人(61.5%)、次いで50歳代が8人(15.4%)となっている。

四輪乗車中の死者数が24人(46.2%)、歩行中の死者数が18人(34.6%)となっている。

死者数(人)



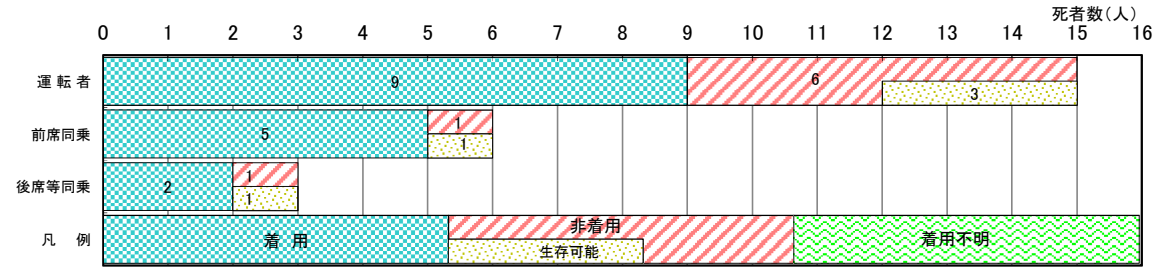
注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者24人中、シートベルト非着用者は8人(33.3%)となっている。

非着用者のうち5人(62.5%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用					非着用					着用不明	
		計	同乗者			計	同乗者(助手席)			同乗者(後部席)	計	着用不明	計
			運転者	助手席	後部席		運転者	助手席	後部席				
令和6年	24	16	9	5	2	8	6	3	1	1	1	1	1
構成率(%)	100.0	66.7	56.3	31.3	12.5	33.3	75.0	50.0	12.5	100.0	12.5	100.0	100.0

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が5人(62.5%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
シートベルト着用	1	1		2	2	1	9	1	6	2		16
構成率(%)	6.3	6.3		12.5	12.5	6.3	56.3	6.3	37.5	12.5		100.0
シートベルト非着用			1	1	1		5	1		4		8
構成率(%)			12.5	12.5	12.5		62.5	12.5		50.0		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者8人の損傷加害部位をみると天井、座席が各々2人(25.0%)、車外放出、ハンドル、フロントガラスが各々1人(12.5%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
シートベルト着用			1	1		1			2	5	5	1	16
構成率(%)			6.3	6.3		6.3			12.5	31.3	31.3	6.3	100.0
シートベルト非着用	1		1	1				2	2			1	8
構成率(%)	12.5		12.5	12.5				25.0	25.0			12.5	100.0
運転者	1		1	1				2				1	6
構成率(%)	12.5		12.5	12.5				25.0				12.5	75.0
同乗者									2				2
構成率(%)									25.0				25.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。